

未来へ向かって、村内3中学校卒業式

村内3中学校の卒業式が3月12日、各中学校体育館で行われ、白水中学校、久木野中学校、長陽中学校生としての最後の卒業生が新たな一歩を踏み出しました。

白水中学校

白水中学校では、卒業生35人に、塩山明校長から一人一人に卒業証書が手渡されました。卒業生を代表し、藤本哲次君が「白水中学校最後の卒業生であることを誇りに、今まで出会った全ての方々に感謝の気持ちと、これから出会うであろう多くの人との絆を大



卒業証書を受け取る卒業生



式の終わりに感謝を述べる卒業生



卒業生による「友～旅立ちの時～」の合唱

切にしていきたいことを誓います」と答辞を述べると、卒業生は涙を流し、3年間学んだ校舎に別れを告げました。

久木野中学校

久木野中学校では、21人が卒業。式では、作田潤一校長から一人一人に卒業証書が手渡されました。在校生を代表して、西原あかりさんが、「本年度で閉校する久木野中学校をよりよいものにしようと先輩方と一緒に頑張ったこの1年間の日々は私たちにとってかけがえのないものでした」と送辞の言葉を述べると、卒業



卒業証書を受け取る卒業生



「仰げば尊し」を唱歌する卒業生

生は、在校生や先生との別れを惜しんでいました。



在校生に見送られ退場する卒業生たち

長陽中学校

長陽中学校では、32人が卒業し、田上利昭校長から卒業証書が手渡されたあと、式辞で田上校長が、2つのお願いをされました。「失敗を恐れず何事にも挑戦してほしい」、「周囲から頼られ、含蓄のあるアドバイスができるようになってほしい」。卒業生へ中学校生活中に講話で話された「失敗が最も大嫌いなもの」や、「ウサギとタヌキ」の話を交えたエールが送られ、卒業生は胸を張り学び舎を巣立ちました。



「エール」を合唱する卒業生



卒業証書を受け取る卒業生



吹奏楽部の演奏に合わせて入場